

政 策 討 論 会 報 告 書

開催日時	令和8年2月7日（土） 午後1時30分から午後3時20分			
開催場所	こどもと福祉の未来館			
出席議員	大 舘 隆 行	大久保 竜 一	末 吉 美帆子	
	神 戸 鉄 郎	小 林 澄 子	花 岡 健 太	
	長谷川 礼 奈	植 竹 成 年	大 石 健 一	
	中 毅 志	青 木 利 幸	入 沢 豊	
	委 員 長	大 舘 隆 行	副 委 員 長	大久保 竜 一
	記 録 者	大久保 竜 一	司 会	大久保 竜 一
講 師	廣 瀬 克 哉 氏（法政大学法学部政治学科教授）			
傍聴者数	15人			
内 容	【テーマ】			
	所沢市議会は年中やることになったの？ ～通年会期制について～			
	【内 容】			
	第1部は、法政大学廣瀬克哉教授が通年会期制について基調講演を行った。			
	会期の歴史・制度、地方自治法改正による通年会期制についての説明に始まり			
	「通年議会＝ずっと議会をやっているのか？」という部分について、必要な時期に必要な日数の会議を設定できること、日数を減らすこともできる等解説があった。			
	最後に、現在は導入して最初の一年であるため、従来の慣例に配慮しつつ徐々に			
	会議の組立を検討する時期であり、自由な日程組みの検討や、市民から意見を			
	反映させることなどが示唆された。			
	第2部前半は、議会運営委員会委員5名により通年会期制に関する振り返りを			
	行った。導入以前より市民等から会期日数の増加、それに伴う業務や支出増など			
	懸念されたが、導入前後の会期日数データや取組の感想を踏まえ、現状懸念される			
	事態にはないことを確認した。また導入後良かった点として、年間の予定が立て			
	やすくなった点や、臨時会議を開催できる仕組みを持てた点などが挙げられた。			
第2部後半は、廣瀬教授をファシリテーターとして、別の議会運営委員会委員				
5名が「次年度以降に向け、通年会期制を定着させるために整理・見直しすべき点				
は？」のテーマで意見を述べた。会期日程が決められるという利点を活かして、				
議会報告会や政策討論会など議会主催のイベントを強化し、これまで議会と接点の				
薄かった若い世代にも議会の存在をアピールすることや、委員会を開くフットワー				
クが軽くなり政策立案のための調査が容易になったことで、住民福祉の向上のため				
より開かれた議会を目指すことなどについて、活発な討論が行われた。				

所沢市議会議長 粕 谷 不二夫 様

令和8年2月16日

上記のとおり報告します。

議会運営委員会委員長 大 舘 隆 行